



研究テーマ：医療産業人の多様な可能性と人材育成

研究者：野口 敦司

NOGUCHI Atsushi  
(保健医療学部 教授)

#### 【研究・開発の目的】

医療技術者（技師・技士）にとどまらず、さまざまな分野で医療の知識・技術を活かし活躍する人材を医療産業人と称している。我が国は超高齢社会、多死社会、人口減少に突入し、多様な問題がある中で医療産業人ができること、やるべきことを探求し、医療産業人育成のプログラムを開発することが目的である。

#### 【研究・開発のきっかけ】

日本文理大学（本学）において2023年度から保健医療学部が開設し診療放射線学コース、臨床検査学コース、臨床医工学コース各々に学生が入学し、医療産業人の育成がスタートした。

#### 【研究・開発の概要】

本学の産学官民連携推進センターでは地域の産業の発展と人材育成をつなぐ教育・研究を推進しており、医療産業人育成につなげていく。

#### 【研究・開発の特色】

本学は既に工学部、経営経済学部が充実しており、全国レベルで活躍する部活動も有するキャンパスで、どのような医療産業人が育成するか挑戦である。

#### 【今後の展開】

2023年6月11日付読売新聞社説によれば、人生100年時代、日常生活を問題なく送れる期間を「健康寿命」と呼び、健康寿命が2019年に男性1位、女性4位である大分県の事例を掲載している。大分県での活動を学び参画し医療産業人育成に活かしていく。

#### 【今後の課題】

診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士の資格を得る学生に医療産業人としての力を育成する。

#### 【地域・企業へのメッセージ】

医療・保健・介護施設および企業におけるプロジェクト・イベントや業務等で、保健医療学部の学生がボランティアもしくはアルバイトで地域に貢献できることがあります。もし、大学までご連絡ください。